

第1号議案

令和5年度 事業報告書承認の件

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

一般社団法人全国牛乳流通改善協会

I. 事業の実施内容

令和5年度の社会環境は、感染症対策の規制緩和を受けた経済活動の持ち直し、賃金上昇、インバウンド需要の回復などから穏やかな景気回復が続くと期待された。一方、物価の上昇による家計や企業への影響が続くと考えられ、引き続き国内外の情勢を注視する状況にあった。乳業界においても複数回の乳価改訂により多くの扱い商品の値上げが行われ、牛乳販売店にとって多大な影響が避けて通れない状況下におかれた。この様な中、全改協の実施事業は計画に沿って推進すると共に、必要に応じて実施要項を見直すなど効率を重視した事業運営に努めた。

1. 加盟店サポート事業

(1) ミルクカレンダーの制作・斡旋事業

①内容：日本料理店店主 笠原将弘氏監修による「牛乳をたっぷりつけた和のごはん」のタイトルで、独創的な料理12種とドリンク6種の調理手順と完成写真を掲載したカレンダーを作成し、都道府県流改協や牛乳普及協会、マーク協を通じて広く消費者に配布し、料理への牛乳乳製品の利用による消費拡大と健康増進、そして、より楽しい食生活への広がりを目指した。表紙には、農林水産省とJミルクが中心になって推進している「牛乳でスマイルプロジェクト」のロゴを掲載し、さらに、業界を挙げて取り組んでいる「土日ミルク」の活動内容を掲載するなど、酪農乳業界に対する理解促進にも努めた。昨年度から理事会直下に設置した事業検討委員会の「ミルクカレンダー委員会」の検討により、書き込みスペースなど使い勝手の改善等を行った。

②時期：令和5年5月～12月

③実績：発行部数 811,246部

発行売上 45,333,270円（送料、店名印刷代を含む金額）

各都道府県別発行部数（窓口は流改協、牛乳普及協会等）

県名	部数	県名	部数	県名	部数	県名	部数
北海道	39,160	東京	30,706	滋賀	10,800	香川	5,950
青森	7,700	神奈川	30,200	京都	18,500	愛媛	16,090
岩手	11,500	新潟	44,400	大阪	20,200	高知*	7,600
宮城	17,550	富山	11,300	兵庫	37,200	福岡	29,450
秋田	8,700	石川	13,900	奈良	4,300	佐賀	7,650
山形	12,000	福井	3,400	和歌山	5,500	長崎	5,580
福島	11,300	山梨*	12,000	鳥取*	66,500	熊本	25,200
茨城	7,600	長野	18,800	島根*	23,000	大分	2,500
栃木	9,700	岐阜	10,700	岡山	16,510	宮崎*	11,500
群馬	19,100	静岡*	14,500	広島	21,990	鹿児島	13,600
埼玉	4,850	愛知	22,300	山口	17,700	その他	1,400
千葉	45,600	三重	23,250	徳島	12,310	合計	811,246

（流改協組織がない*印の各県は牛乳普及協会等を経由して利用）

(2) 食品等流通合理化緊急対策事業

加盟店の設備・機器導入費用の軽減を図るため、公益財団法人食品等流通合理化促進機構の「食品等流通合理化緊急対策事業」の活用を案内した。

これまでに利用実績の多い保冷車など配達車両の更新、新規導入に際しての制度利用をすすめた
が、年度内での実績はない。加盟店の投資計画に基づく制度の活用を指定リース会社と連携して
引き続き推進していく。

(3) 研修支援

加盟店の経営品質向上のため、経営に直結する各種法令や公的制度の理解と対応についての説明
および研修資料を提供した。

資料

- ・牛乳販売店の適格請求書保存方式(インボイス制度)および電帳法への対応(制度解説)
- ・牛乳販売店のSDGsセルフチェックリスト活用の勧め

(4) 組織活性化対策

理事会直下の担当役員による検討委員会において組織の活性化と効率運営のための、組織、事業
の見直し等の検討を行っている。

①組織検討委員会

都道府県流改協の活性化と加盟店減少への対応策として、都道府県流改協組織の見直しを進め
るにあたり、全改協会費の算定方式を改め、現在の3つの指標による方式から加盟店数のみを
基準にした算出方法等を検討して理事会に諮った。

②既存事業の見直し

牛乳販売店の優良事例発表および表彰事業、ならびにミルクカレンダーの制作・斡旋事業につ
いて、加盟店の参加や活用がしやすい内容への改善を理事会に諮った。

③実施事業の検討

全改協が行う既存事業の整理と新規事業の検討を進めている。

2. 牛乳販売店の優良事例発表および表彰事業

昨年に続き会場での発表会を開催した。参加店はマーク団体からの推薦方式によって候補店が選
定され、各店の提出書類による一次審査を行い、発表候補店として8店を選出した。候補店には
経営専門家3名による訪問調査を行い、その調査結果に基づく二次審査によって候補店8店すべ
てを発表会出席店とした。

発表会では、各店の発表に対し中央審査委員による審査を行い、最優秀賞農林水産大臣賞以下各
賞を選び表彰を行った。

各賞に輝いた入賞店の取り組みは、通販や食品宅配など拡大する宅配チャネルにおいて、労働者
不足、人件費や燃料費の高騰など、牛乳販売店を取り巻く環境が極めて厳しい状況の中、高齢化

社会の進行による宅配ニーズや、健康に対する意識の高まりを経営者、従業員がともに理解し、地域とのつながりを深めることによって成果をあげるなど、お客様満足を意識した経営努力が共通している。

また、他業種から牛乳宅配に参入した事例やこれまで牛乳販売店経営では当然とされてきたサービスの在り方を見直すなど、新しい経営感覚のもとに事業を行う事例が発表され、全国の加盟店の参考になると共に励みにもなる内容であった。

各事例内容は、発表会の動画と共に全改協ホームページに掲載して共有を図った。

①一次審査・二次審査委員

小畑秀之（経営専門家） 窪田靖生（経営専門家） 石川明湖（経営専門家）
 木納雅康（全改協会長） 白羽恵司（全改協副会長） 宮寄貴浩（全改協副会長）
 家村正則（全改協専務理事）

②中央審査委員

内橋政敏（Jミルク専務理事） 佐南谷英龍（食流機構専務理事） 小畑秀之（経営専門家）
 木納雅康（全改協会長） 白羽恵司（全改協副会長） 宮寄貴浩（全改協副会長）
 家村正則（全改協専務理事）

◇第35回各賞入賞店

	賞	地域	販売店名	代表者	
①	最優秀賞	農林水産大臣賞	埼玉県	株式会社小針乳業	小林 正明
②	優秀賞	農林水産省 畜産局長賞	新潟県	かわだ商事株式会社	川田 泰基
③	優秀賞	Jミルク会長賞	神奈川県	小岩井牛乳 横浜ミルクセンター	北嶋 克悦
④	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	栃木県	有限会社田中商店	田中 俊光
⑤	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	大阪府	株式会社BHC CORPORATION ビッグヘルスケア	武内 孝壽
⑥	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	宮城県	株式会社TENPO計画 森永ミルクファーム	高井 秀樹
⑦	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	三重県	有限会社草河乳業	草河 伸一
⑧	優秀賞	全国牛乳流通改善協会 会長賞	大阪府	有限会社みるくらぶ	長谷川 泰吉

3. 事業会議（地区別会議）

総会終了後今年度事業の詳細説明を目的として全国5ヵ所で開催した。なお、コロナ禍で中止していた意見交換会を再開し、当年度事業に対する質問のほか、各流改協の課題や今後に向けての全改協事業への要望などの聴取に努めた。

①開催場所と日時

- ・東京 6月14日(水) ・大阪6月20日(火) ・福岡6月21日(水)
- ・名古屋6月27日(火) ・仙台7月7日(金)

②出席対象

- ・都道府県流改協事務局、加盟マーク協会役員、メーカー担当者および全改協役員他

4. 広報関連事業等

(1) 機関紙「全改協だより」

全改協事業の内容および実施状況を加盟店に周知し、販売店経営に係る酪農乳業の各種情報、牛乳乳製品に関する情報および業務の円滑化を図るための資料や情報、特に経営改善のための各種公的助成制度の内容等を掲載した。

全加盟店への確実な配布のため、一部メーカーの加盟店との通信ネットワークを活用したデータでの配信方法をさらに拡大した。

第103号(7/25) 第46回通常総会の報告、令和5年度事業概要、地区別会議開催報告

第104号(11/24) インボイス制度、電帳法(牛乳販売店の場合)への対応、各種お知らせ

第105号(1/1) 会長年頭所感、令和5年度事業計画概要、地区別会議開催のお知らせ

第106号(3/27) 第35回牛乳販売店優良事例発表会について

(2) ホームページによる広報活動

加盟店および関係先に対する迅速な情報伝達と内容の周知を図るため、加盟店の経営に役立つ他店の取り組み事例、業界関連情報等の掲載に努めた。

(3) 関係団体との連携

酪農乳業界の一員として関係団体と連携をとり、各団体が実施する事業への参加および情報の共有、協議、検討を行った。

①一般社団法人Jミルク

正会員として理事会、マーケティング専門部会に担当役員が出席した。

Jミルク事業の生産流通関連事業への理解と学術調査関連事業による知見の活用を進めた。コミュニケーション関連事業では、需要拡大に向けた取り組み方針を加盟店と共有するとともに、農水省とJミルクによる「牛乳でスマイルプロジェクト」では、プロジェクトメンバーと連携し「牛乳でキャンプめし」企画において、これまでにミルクカレンダーに掲載した料理レシピの中から「キャンプめし」にふさわしいレシピを提供するなど積極的な参加に努めた。また、毎年作成するミルクカレンダーは生乳需給が緩和する年末年始の時期に加盟店から直接消費者に配布し消費拡大を喚起した。なお、学校給食のない日にも家庭での飲用をすすめることで子どものカルシウム不足に対処する「土日ミルク」の企画の周知と提供コンテンツの活用による牛乳への理解向

上と需要創出に取り組んだ。

②公益財団法人食品等流通合理化促進機構

理事として理事会に出席し、他業界団体との交流に努めるとともに、実施事業への参加および制度利用を推進した。

- ・同機構主催の「優良経営食料品小売店等表彰事業」では、当会の第34回優良事例表彰店から2店を推薦しそれぞれ各賞を受賞した。

*受賞店と賞名

- 1) 千葉県 株式会社S T S……………農林水産省大臣官房長賞
- 2) 大阪府 J S Bデイリーサポート……公益財団法人食品等流通合理化促進機構 会長賞

5. 総務関連

(1) 情報システムの活用

- ・事業会議のリモート開催および外部会議へのリモート出席等、効率化を図った。
- ・情報伝達はメールを基本とし、迅速化とともに資料のペーパーレス化に取り組んだ。

(2) 法令および規則への対応

- ・消費税適格請求書保存方式(インボイス制度)への円滑な対応に取り組んだ。
- ・電子帳簿保存法の周知と牛乳販売店の対策を解説した。
- ・前年施行の道路交通法一部改正(安全運転管理者の業務の拡充)に対応し、アルコール検知器を用いた酒気帯びチェックの励行等の周知に努めた。

6. その他

(1) 災害見舞金の支給

1月1日に発生した能登半島地震によって被害に遭われた加盟店への見舞金として、規定の一律10千円、総額140千円を対象流改協に支給した。支給先と金額は下記のとおり。

- | | | |
|---------|----|------|
| ①石川県流改協 | 8店 | 80千円 |
| ②富山県流改協 | 5店 | 50千円 |
| ③福井県流改協 | 1店 | 10千円 |

以上

令和5年度 主な会務・事業等の概要

【全改協】

令和5年	4月19日	監事監査
	5月12日	第1回理事会
	6月9日	第1回常任理事会
	6月9日	第46回通常総会
	6月14日	地区別会議 東京
	6月20日	地区別会議 大阪
	6月21日	地区別会議 福岡
	6月27日	地区別会議 名古屋
	7月7日	地区別会議 仙台
	7月14日	第2回理事会 (Web会議)
	10月6日	牛乳販売店優良事例 第一次審査会
	11月17日	第3回理事会
	12月8日	牛乳販売店優良事例 第二次審査会
令和6年	2月2日	第4回理事会 (Web会議)
	2月16日	第35回優良事例発表会
	3月15日	第2回常任理事会
	3月15日	第5回理事会

【Jミルク】

令和5年	5月24日	監事監査に担当役員出席
	5月31日	第1回理事会に担当役員出席
	6月16日	定時総会及び第2回理事会に担当役員出席
	10月3日	第1回マーケティング専門部会に担当役員・職員出席
	10月5日	第3回理事会に担当役員出席
令和6年	1月11日	第2回マーケティング専門部会に担当役員・職員出席
	1月24日	第4回理事会に担当役員出席
	2月22日	第5回理事会に担当役員出席
	3月21日	第2回臨時総会に担当役員出席

【乳業団体】

令和6年	1月9日	乳業団体合同賀詞交歓会
------	------	-------------

【食品等流通合理化促進機構】

令和5年	6月6日	第1回定例理事会に担当役員出席
令和6年	2月28日	第33回優良経営食料品小売店等表彰式に事務局出席
令和6年	3月5日	第2回定例理事会に担当役員出席

以上